

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65.0%	自校A B層の割合	65.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・前時の復習や既習事項の確認の時間を授業内で必ず5分行う。 ・主体的・対話的で深い学びを意識して、各授業内で学び合いや教え合いを意識した授業展開をする。 ・読書科で得た探究の方法を横断的に他教科に活用する。	・ミライシード「ドリルパーク」を各教科で週1回課題配信する。 ・国語、数学、英語の各教科でコンテストを毎学期実施する。	・家庭学習ノートを毎日1ページやって提出する。 ・その日の授業のテーマになった学習課題をミライシード「ドリルパーク」で配信する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・授業中に複数回の机間指導を行い、基礎・基本の内容を習得できるように支援する。 ・全員が自信をもって答えられるような問題を提示し、自己肯定感を高める。	・放課後補習事業者と連携して、支援を実施する。 ・授業内、授業の前後で声をかけ、基礎・基本の習得を図る。	・復習のしかたや副教材のワークの取り組むべきページを指示する。 ・ミライシード「ドリルパーク」の課題配信に取り組むように支援する。
成果指標	・都学力調査 授業で「できた」「わかった」と感じる人が多いと思う割合 84.2%→90%	・都学力調査 教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学習したことを確実にできるようにしている。 79.3%→85%	・全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」 1時間以上の回答割合 84.4%→90%